

開催日程

令和5年9月7日（木）20:00～21:00（オンライン開催）

参加国等

- ・議長として松本総務大臣が参加。
- ・G7各国（加、仏、独、伊、米、英）、EU、国際機関（OECD、GPAI）が参加。

主な成果

- ◆ 本会合の結果、G7広島AIプロセスの中間的な成果として、「**G7広島AIプロセス G7デジタル・技術閣僚声明**」を採択。
- ◆ 閣僚声明において**以下の項目について合意**。

○OECDレポートに基づく優先的な課題、リスク及び機会に関する理解

- G7共通の優先的な課題・リスクとして、透明性、偽情報、知的財産権、プライバシーと個人情報保護、公正性、セキュリティと安全性等が例示。また、機会として、生産性向上、イノベーション促進、ヘルスケア改善、気候危機の解決への貢献等が例示。

○高度なAIシステム（基盤モデルや生成AIを含む。以下同じ。）に関する国際的な指針(guiding principles)及び行動規範(code of conduct)

- 高度なAIシステム技術の進歩に鑑み、**AI開発者を対象とする国際的な行動規範の策定が国際社会の喫緊の課題の1つ**であることを認識。AI開発者を対象とする行動規範を策定する基礎として、以下の項目で構成される指針の骨子を策定。
AI開発者を対象とする指針と行動規範のG7首脳への提示を目指す。
- 年内に、**開発者を含む全てのAI関係者向けの国際的な指針を策定。**

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高度AIシステムの適切な安全対策及び導入前の社会的リスクの考慮 ・高度AIシステム導入後の脆弱性の特定と低減に向けた努力 ・モデルの能力、限界、適切・不適切な利用領域の公表 ・AI開発者と政府、市民社会、学界との間での責任ある情報共有 ・プライバシー及びAIがハラスメント等のリスク管理計画及び低減手法の開発及び開示 | <ul style="list-style-type: none"> ・サイバーセキュリティ及びインサイダー脅威対策を含む強固なセキュリティ管理措置への投資 ・電子透かし技術等のAIが生成したコンテンツを利用者が識別できる仕組みの開発及び導入 ・社会、環境、安全のリスクを軽減するための研究・投資の優先的な実施 ・気候危機等の世界最大の課題に対処するための高度なAIシステムの優先的な開発 ・国際的に認知された技術標準の開発及び整合性確保の推進 |
|---|---|

○偽情報対策に資する研究の促進等のプロジェクトベースの協力

- OECD、GPAI、UNESCO等の国際機関と協力し、AIによって生成された偽情報を識別するための最先端の技術的能力に関する研究の促進等、プロジェクトベースの取組を推進することを計画。

○上記の取組を進めるに当たっては、幅広いマルチステークホルダーの意見を採り入れることに合意。